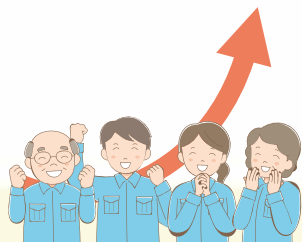


大分県内の最低賃金 1,035円に!

佐藤樹一郎知事の知事提案理由説明でも取り上げられましたが、9月4日(木)、大分地方最低賃金審議会は、2025年度の大分県内の最低賃金(時給)を現行から81円(8.49%)引き上げ、1,035円とするよう大分労働局長に答申しました。

時給で示すようになった2002年度以降、最大の上げ幅となり、初めて1,000円を超えました。物価高騰などを踏まえ、企業の準備期間などを考慮し、2026年1月1日からの適用を予定しています。

これは、国の審議会が示した引き上げの目安額(64円)より17円高く、都道府県別では熊本に次ぐ2番目の上乘せ額です。



以前の県議会常任委員会での話です…

2009年、民主党が衆院選のマニフェストに「全国平均で最低賃金1,000円をめざす」と掲げ政権に就きました。その数年後の県議会の常任委員会で、ある保守系の県議が「最低賃金が1,000円などありえない、企業の経営がもたない。」と発言。私は「物価上昇に合わせた賃上げは必要不可欠であり、その支援こそが行政の役割ではないか。」と反論しました。

昨年度、全国平均で1,000円を超え、今年度、大分県もついに達しました。現在、政府が2020年代に全国平均で1,500円とするという目標を掲げ、私は時代の流れを感じています。

事業者にとっては、人件費の負担が一段と増すのは事実です。賃上げの原資を確保するため経費の上昇分を商品やサービスの価格に転嫁することも含めて、行政として事業者の賃上げと人手不足対策への支援を拡充していくことが求められています。

お待たせしました いよいよホーバークラフト就航

7月26日(土)、大分空港へのアクセス向上のため西大分と大分空港を結ぶホーバークラフトが定期就航しました。大分市～空港を最短約30分で結び、ホーバーの定期路線はアジアで唯一となります。16年ぶりとなるホーバークラフトの就航ですが、当初の計画では2024年春だった就航予定が、相次ぐ事故などにより遅れていました。

定期便の就航からまもなく3ヶ月となりますが、今定例会の総務企画委員会でその利用状況が報告されました。

企画振興部の報告によると、別府湾周遊便は9割の搭乗率で推移しているものの、肝心の定期便の搭乗率はおよそ3割で推移しているとのことでした。



原田たかし後援会への加入をお願いします

原田たかし後援会への加入をお願いします。年会費は1家庭1,000円です。加入していただいた方へは、年4回発行しています「原田たかし会報」と県民クラブ会報「県民ひろば」をお送りいたします。御連絡をお待ちしております。

原田たかし後援会 ☎0977(25)0011

〒874-0838 別府市荘園町3組の2 原田たかし事務所内

定期便の搭乗率はおおよそ3割で推移

一方で、県がホーバークラフトの利用者およそ1,500人に対し実施したアンケートの結果9割以上が「満足」「やや満足」と回答したということですが、利用者からは「往復利用できるように増便してほしい」などの声が寄せられているということです。

私は、3割の利用率というのはやっぱり低いのではないかと思います、それについてどう考えているのかを質問しました。

担当課長の答弁では、「公共交通機関としての安全・安定をまずは最優先にしながら、次の段階に移行すると聞いている。今後、運営事業者が搭乗率の向上に向けて考えていくものだと考えている。」とのことでした。



TOSニュースで、委員会で質問した様子が報道されました

私が所属しています県民クラブもHPを開設していますので御覧下さい。

大分県議会 県民クラブ

検索

<https://kenmin-club.com/>

